

イヌカミツレ

Matricaria inodora

キク科

名前の由来

この花を指すオランダ語のカミルレが訛って名付けられた。“イヌ”とは“役に立たない”の意で、薬用・食用など人間の使用に適さない植物の名前の頭によくつけられている。
漢字名：犬カミツレ



イヌカミツレ

形態的特徴

高さ20～60cmで全体はほとんど無毛。葉は2～3回羽状複葉に全裂し、葉脈だけを残したような細かい糸状になる。花は径2～3.5cmで黄色い中心の筒状花を15～20枚の白い舌状花が取り囲み、頭花を形成する。開花後に花床が半球状に盛り上がる。

類似種と見分け方：シカギク、フランスギク。

イヌカミツレの果実は扁平で丸みを帯びるが、シカギクの

果実は四つ角があり長細い直方体。また、一般にシカギクの生育地は海岸の砂地や荒地なので、生育地からもある程度判断できる。

イヌカミツレとシカギクは葉が非常に細かく切れ込むが、フランスギクはへら状でふちに丸みを帯びた鋸歯がある。

生育環境・分布

道端や空地などでみられる。

分布：国外分布は、ヨーロッパ原産でアメリカ、オーストラリアなど世界に広く帰化している。

国内分布は、日本全土。

北海道内分布は、日高、根室以外の全道で確認されている。十勝地方生育状況は、道端や空き地、河川敷の草地などに見られる。しばしば大群落をつくり、イヌカミツレのお花畑となる。

生活史

開花時期：6月中旬～8月初め。開花までの年数：1～2年。

寿命：1～2年草

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

- 明治中期に帰化したとされる。
- イヌカミツレはハーブのカモミールと同じシカギク属である。同じ属のコシカギクには花に芳香があり、ヨーロツ



イヌカミツレ

類似種のフランスギク

パなどでは薬用として古くから利用されているが、イヌカミツレは特に匂いもなく、薬用の効果はないのかもしれない。

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期				■								

参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「原色日本帰化植物図鑑」長田武正 保育社 1976

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(葎原・樹林)
ワシタカ